

令和元年度EMS実施結果及び 令和2年度目標

環境局環境活動推進担当課

【内 容】

- 1 札幌市のEMS
- 2 令和元年度EMS実施結果（管理項目の実績）
- 3 令和元年度EMS実施結果
 - (1) 全庁目標の達成状況
 - (2) 個別目標の達成状況
 - (3) 公共工事に関する目標の達成状況
 - (4) 不適合の件数とその是正改善状況
- 4 令和2年度目標
 - (1) 全庁目標
 - (2) 個別目標
 - (3) 公共工事に関する目標

1 札幌市のEMS

札幌市では、平成 12 年度より環境マネジメントシステム(EMS)の構築・運用を開始し、平成 13 年度には、EMSの国際規格である ISO14001 認証を取得しました。

その後、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」や「地球温暖化対策の推進に関する法律」の改正・施行により、さらなる温暖化対策の強化が必要となったため、ISO14001 認証を返上し、平成 23 年度からは、札幌市の実情に合った新しいEMSの構築・運用を開始しています。

新EMSにより全庁に拡大した施設のエネルギー使用量等の管理を行うとともに、平成 26 年度に策定した「札幌市役所エネルギー削減計画」に基づき、年平均 1%以上のエネルギー使用量の削減を目指します。

2 令和元年度EMS実施結果（管理項目の実績）

管理項目		
全庁エネルギー使用量	実績	単位
電気	166,643	原油換算 (kL)
都市ガス	23,623	原油換算 (kL)
A重油	8,917	原油換算 (kL)
自動車	1,771	原油換算 (kL)
その他	7,528	原油換算 (kL)
合計	208,483	原油換算 (kL)
グリーン購入調達率	実績	単位
紙類	98.9	%
文具類	98.6	%
OA機器	98.6	%
照明	89.2	%
その他	82.4	%
全体	93.5	%
温室効果ガス排出量	実績	単位
エネルギー起源 CO ₂	482,809	t-CO ₂
非エネルギー起源 CO ₂	182,943	t-CO ₂
一酸化二窒素	37,035	t-CO ₂
メタン	9,543	t-CO ₂
合計	712,330	t-CO ₂

※数値は有効数字以下切捨で表記しているため、合計と一致しないことがある。

3 令和元年度実施結果

(1) 全庁目標の達成状況

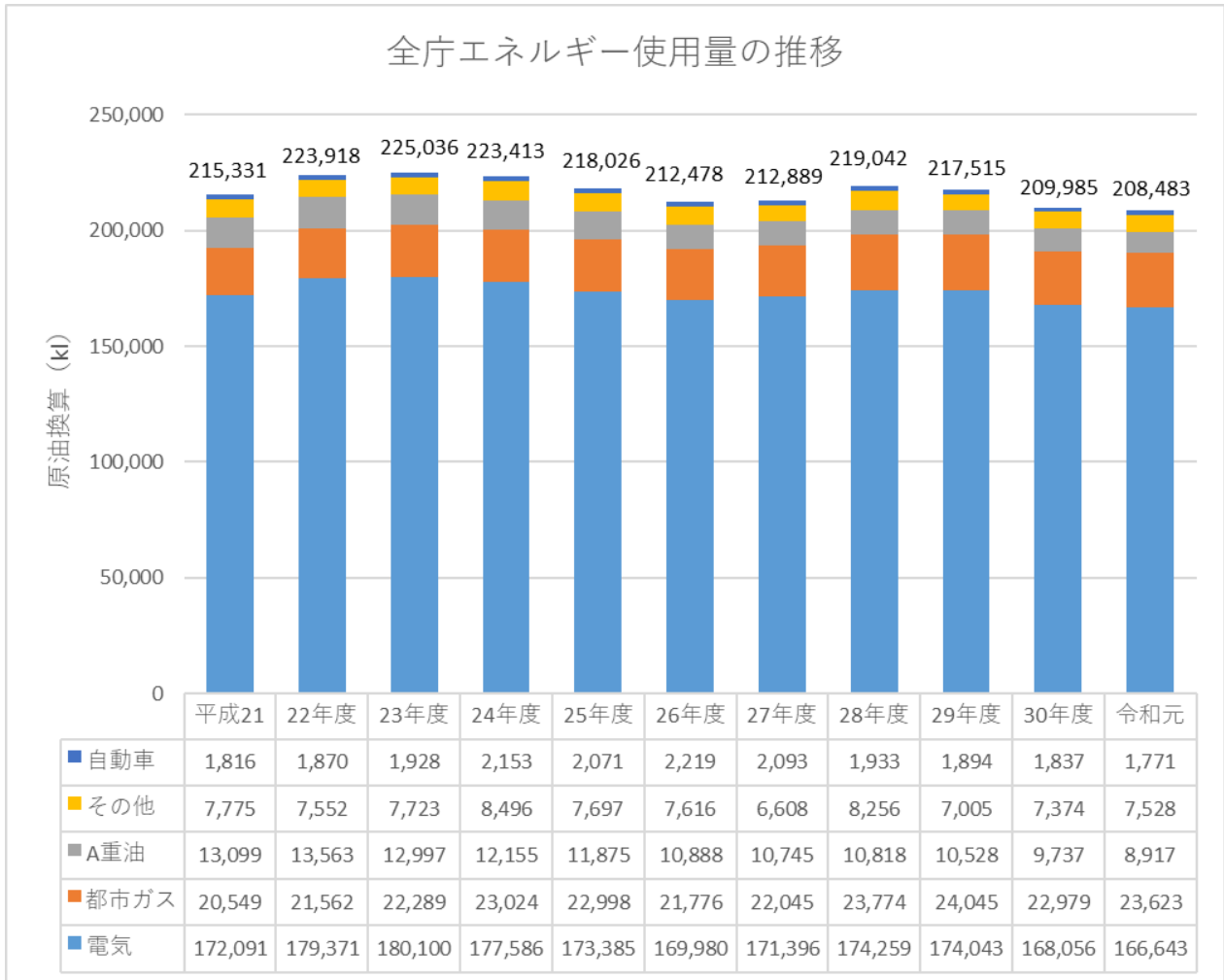
全庁目標：「札幌市役所エネルギー削減計画」に基づき、エネルギー使用量を平成21年度比で毎年平均1%以上削減する。

結果：令和元年度のエネルギー使用量は約208,483(kL-原油換算)となり、平成21年度より、3.2%減少。(前年度比0.7%減少)

札幌市の事務事業におけるエネルギー使用量は、電力が約8割を占めており、続いて都市ガス・A重油となっています。

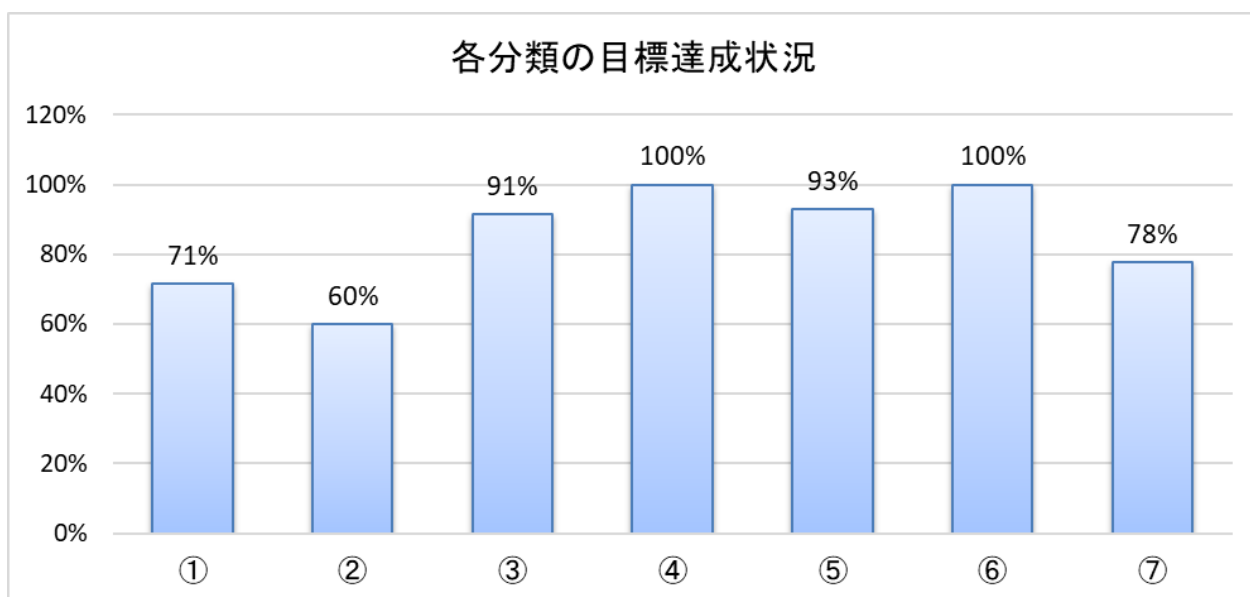
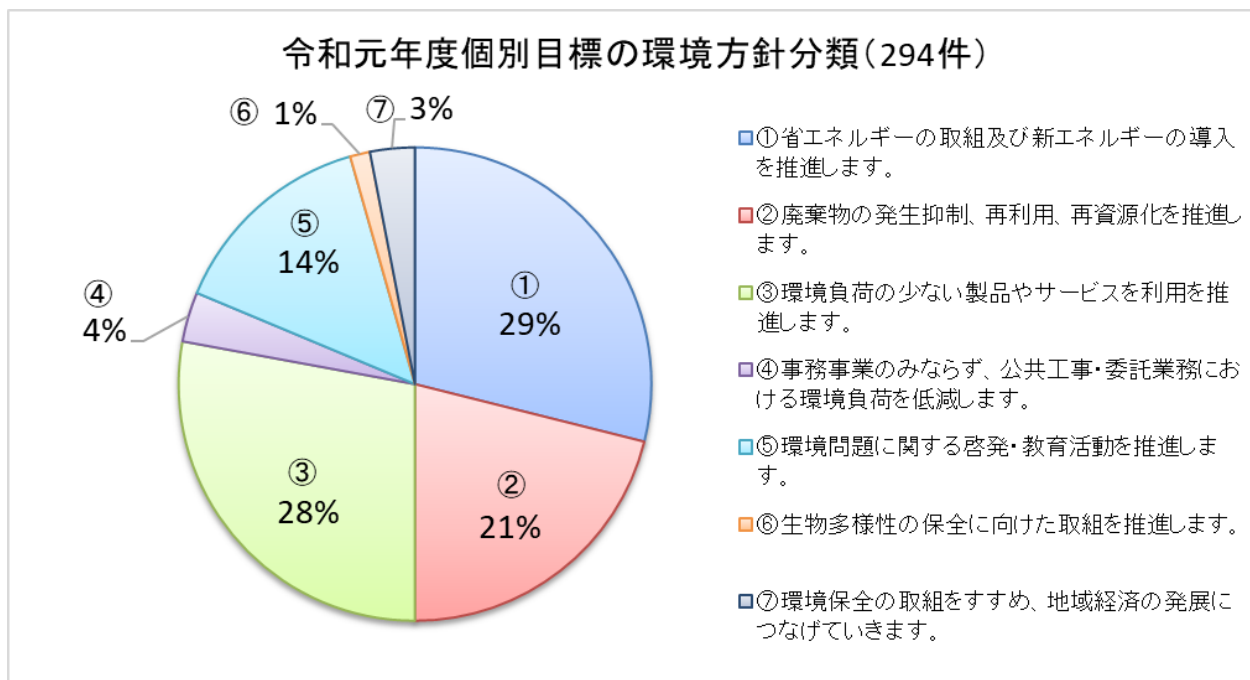
令和元年度のエネルギー使用量は、気象の影響も考慮する必要がありますが、市設街路灯や地下鉄駅舎のLED転換等の省エネ対策を推進した結果、約208,483kL(原油換算)となりました。

平成30年度との比較では、約0.7%減少しました。なお、基準年度である平成21年度に対しては約3.2%の減少となりました。



※(参考)札幌ドームのエネルギー使用量:約4,000kL-原油換算

(2) 個別目標の達成状況



※個別目標とは、各課で必ず1個以上設定し、次の項目を含むもの。

- 1 「札幌市役所エネルギー削減計画」の計画推進のための具体的な取組に該当する取組（必須）
- 2 各局（区）の局（区）実施プランに記載した「環境配慮の取組」（任意）
- 3 その他の環境配慮の取組（任意）

※各課単位の具体的な目標と達成状況に関しては別紙1参照

(3) 公共工事に関する目標の達成状況

別紙 2 参照

※公共工事に関する目標は、各プロジェクト会議（土木部門、建築・設備部門、雪対策部門）で決定します。

(4) 不適合件数とその是正改善状況

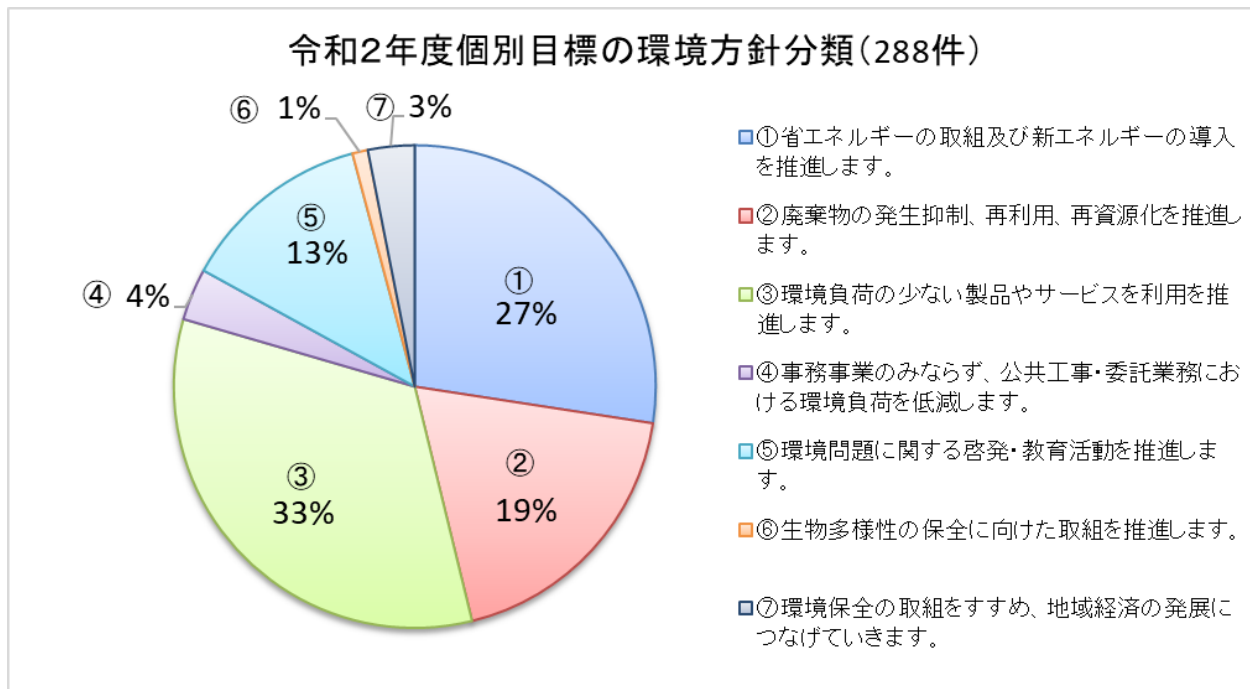
ア 不適合の件数：0 件

4 令和2年度目標

(1) 全庁目標

「札幌市役所エネルギー削減計画」に基づき、エネルギー使用量を平成21年度比で毎年平均1%以上削減する。

(2) 個別目標



※個別目標とは、各課で必ず1個以上設定し、次の項目を含むもの。

- 1 「札幌市役所エネルギー削減計画」の計画推進のための具体的な取組に該当する取組（必須）
- 2 各局（区）の局（区）実施プランに記載した「環境配慮の取組」（任意）
- 3 その他の環境配慮の取組（任意）

※各課単位の具体的な目標に関しては別紙3参照

(3) 公共工事に関する目標

別紙4参照

※公共工事に関する目標は、各プロジェクト会議（土木部門、建築・設備部門、雪対策部門）で決定します。